

2024 年度 事業報告書

2025 年 5 月 27 日

社会福祉法人もえぎの会

目 次

I. 総括	・・・ P2
II. 共通	
1. 重点課題	・・・ P2
2. 苦情・相談対応	・・・ P4
3. 防災・安全対策	・・・ P4
4. 研修	・・・ P6
5. 地域・関係機関との連携	・・・ P9
6. 委員会報告	・・・ P13
III. 施設別	
1. 本部	・・・ P16
2. しいの実社	・・・ P20
3. しいの実社 学芸大学スマイルプラザ	・・・ P25
4. 沙羅の家	・・・ P28
5. 短期入所	・・・ P32
6. 地域生活支援拠点(目黒区委託事業)	・・・ P34

I. 総括

コロナ禍が一段落して、世の中が大きく変化し、もえぎの会においても、利用者支援の事業を継続するために、必要に応じて新たな取り組みをしてきた。日常の活動の改善に加え、世の中の変化に対応するべく長期的視野で、事業運営を安定化させ、事業を継続・発展するために、設備、活動、支援など必要な変更に着手してきた。特に、家族との連携強化に向けた実践は、成果をあげて、スタッフの意識、活動の進め方などに向けた知識、経験として蓄積されてきた。

しいの実社においては、新たな利用者を継続して受け入れ、利用者・家族の世代がさらに拡大している。そのために、特に、学芸大学スマイルプラザにおいて、スタッフ体制の見直し、活動プログラムの見直しなどに取り組んできた。

沙羅の家は、施設長・支援課長の役割分担を見直し、施設長に集中している権限を支援課長へ移譲し、施設長が管理職として機能できる体制を確保するために、沙羅の家部課長会議を開催した。利用者・家族の高齢化が進み、夜勤体制、週末稼働体制を拡大した。それにより、増加が想定される短期入所の緊急受入れ体制を強化した。スタッフ体制は安定したが、業務改善はと十分な成果とならず、継続する課題となっている。

II. 共通

1. 重点課題

1. 支援者の世代交代に向けた対策

7月の家族会で、創成期のご家族のインタビューを試み、創成期を支えた思いや今日の礎となっている活動について、全世代のご家族との共有を図った。

3代にわたる世代のご家族や職員との交流を目的とした家族会懇親会を4月と2月に開催した。7月に開催した事業報告会にも兄弟世代への参加を促し、交流の場につなげ、広報誌の発送作業などの活動に若い世代のご家族が関わる交流の機会を確保した。

今後、家族支援の中心となった母親に代わり、兄弟姉妹や父親への研修や交流の場の設定に向けて取り組みを継続していく。

2. しいの実社の改善・拡大

日中支援検討プロジェクトを開始し、毎月開催した。利用希望の問合せや新規の利用者の受け入れが続く一方で、高齢化も進み、日中活動の在り方を検討するため、高齢プロジェクトチームを継承し、沙羅の家、しいの実社と共同のプロジェクトとした。

高齢化対策の知識を習得しながら、現状を共有し、具体的な課題が見えてきて、2025年度の重点課題「『終の棲家』のさらなる追求」・「しいの実社の拡大を目指して改善」へ引きつがれ、更に具体的な対応へとつながった。

3. 沙羅の家の運営の安定

主な取り組みとして、利用率の把握と共有、会議の実施による意識改革と、労働環境の改善を行い、職員の定着率向上に寄与した。

沙羅の家の利用率は、毎月幹部会で報告・確認を行い、現状を正確に把握し、課題を共有した。また、隔月で沙羅の家部課長会議を開催し、課長の意識づけを強化した。課長が現場の課題を把握し、適切な対応ができるようになることで、組織全体の運営力が向上した。

地域生活支援拠点の会議は未実施であり、課題として残った。

全ユニットで全日夜勤体制を導入し、勤務時間を削減した。これにより、職員の負担が軽減され、より働きやすい環境を整えることができた。この取り組みの結果、離職率が高かった沙羅の家の正規職員の退職者はゼロとなった。地域生活支援拠点の正規職員は1名の退職があった。

これらの取り組みを通じて、沙羅の家の安定運営に向けた一定の成果が得られたが、沙羅の家の収支は悪化しており、引き続き課題の解決に向けた取り組みを継続していく必要がある。

2. 苦情・相談対応

(1) 苦情・相談対応 苦情内容

	施設	苦情内容	対応内容
9 月	しいの実社	郵便局の駐輪場ではない場所に自転車が置いてあり倒れて打ち身となった。自分は区の職員であり障害福祉課へ連絡するかもしれない事を了承するようにとのこと。	直接謝罪に伺わせてほしい旨を伝えるが、断られる。責任者から改めて指導を行うようお願いしお詫びをする。
11 月	しいの実社	近隣より、しいの実祭当日の車についても確認してもらいたい。自宅前に寄せられ出入りに困った。	謝罪をして確認、注意をする旨をお伝えする。お迎え時のご家族の車であることが濃厚なため今後、車での来場を遠慮頂くよう周知確認をする。
1 月	しいの実社	近隣リハビリデイより、利用者を乗せて走行中しいの実社の車が一時停止せずに進入してきて危険だったので気を付けてもらいたい。	非常に見透しが悪いＴ字路で一時停止の後、左右確認のために車両が出過ぎてしまい右方からの直進車に接触する恐れがあった。担当は丁重に謝罪をしたが、相手は車両を叩いて行ってしまった。その後、事務所に連絡が入り、厳重に注意する旨をお伝えし謝罪。

3. 防災・安全対策

(1) 事故

施設	転倒・転落	怪我	服薬	誤飲・誤嚥	自傷・他害	器物破損	その他	計
しいの実社	1	1	2	0	3	0	9	16
学大スマイル	0	0	0	0	0	0	2	2
沙羅の家	8	1	1	0	9	0	1	20
短期入所	0	0	0	0	0	0	0	0
支援拠点	0	0	0	0	0	0	1	1
計	9	2	3	0	12	0	13	39

(2) ひやりはっと

施設	転倒・転落	怪我	服薬	誤飲・誤嚥	自傷・他害	器物破損	その他	計
しいの実社	0	0	6	0	15	4	24	49
学大スマイル	0	0	0	0	6	1	1	8
沙羅の家	1	0	3	0	0	0	4	8
短期入所	0	0	0	0	0	0	0	0
支援拠点	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	0	9	0	21	5	29	65

(3) 【販売に関するもの】

	異物混入	表示	品質	賞味期限	金銭	その他	計
苦情	0	0	1	0	0	0	1
事故	0	0	0	0	0	0	0
ひやり	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	1	0	0	0	1

(4) 防災訓練

施設名	実施日	内 容
スマイルプラザ	8月23日	全館避難訓練
しいの実社	10月11日	避難訓練
沙羅の家 (全ユニット)	2月11日	避難訓練(一時避難場所、広域避難所の確認)
しいの実社	3月13日	避難訓練((1次避難場所への移動含む)
沙羅の家 (沙羅の家清水)	3月14日	合同防災訓練(こぶしえん避難所設営訓練)
スマイルプラザ	3月18日	全館避難訓練

4. 研 修

(1) 外部研修

実施日	施設名	研修名	実施主体	参加人数
5/21	沙羅の家	意思決定支援から見た報酬改定	東京都障害者通所活動施設職員研修会	2人
6/14	しいの実社・沙羅の家	本人中心の支援とは	東京都社会福祉協議会	2人
7/6	しいの実社	支援技術の基本としての権利擁護(DVD 視聴)		1人
7/17 10/21	しいの実社	食品衛生実務講習会	目黒区	2人
7/26	沙羅の家	支援者のメンタルヘルス	東京都障害者通所施設職員研修会	2人
8/8 9/17,18 11/14	しいの実社・沙羅の家	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	東京都	7人
8/21	沙羅の家	虐待防止・権利擁護研修	東京都	2人
8/23	事務局	会計実務に関する情報交換会	東京都社会福祉協議会	1人
8/29	沙羅の家	D カフェ・そなえる(座談会)	NPO 法人「D カフェ」	1人
9/12	事務局	労働基準法に関する研修	東京都社会福祉協議会	1人
9/13	しいの実社・沙羅の家	東社協・都通研合同研修会「知的障害者の中年期・高齢期の支援」	東京都社会福祉協議会 東京都障害者通所活動施設職員研修会	2人
9/19-20 他 2 件	しいの実社・沙羅の家	サービス管理責任者基礎研修	東京都	3人
10/4	しいの実社・沙羅の家	ポジティブ行動支援	東京都障害者通所活動施設職員研修会	4人
10/8 11/5	沙羅の家	GH 従事者基礎研修	東京都	5人
10/28	沙羅の家	「社会福祉の価値」	東京都社会福祉協議会	1人
11/8	しいの実社・沙羅の家	都通研第 4 回「重症心身障害者について」	東京都障害者通所活動施設職員研修会	2人

11/8	しいの実社・沙羅の家	都通研第4回「重症心身障害者について」	東京都障害者通所活動施設職員研修会	2人
11/27	事務局	福祉施設における労務の基本確認と留意事項	東京都社会福祉協議会	1人
11/25	沙羅の家	福祉人材育成プログラム「飛躍」	目黒区	1人
12/3-4	沙羅の家	福祉職員キャリアパス対応障害研修「中堅職員研修」	東京都社会福祉協議会	1人
12/4 他2回	しいの実社	身近にできる合理的配慮とは～事例を通して考える～	目黒区発達障害支援拠点ぽると	1人
12/5・20	沙羅の家	強度行動障害支援者養成研修(実践)	東京都	2人
12/18	沙羅の家	(東社協・GH 運営協議会)合同研修会	東京都社会福祉協議会	1人
12/18	しいの実社・沙羅の家	障害福祉と高齢福祉の交流会	目黒区	3人
12/23	沙羅の家	Dカフェ・まちかど保健室	NPO 法人「D カフェ」	1人
1/17 他	しいの実社	アサーティブコミュニケーション	東京都社会福祉協議会	2人
1/29	しいの実社	後見人やってみた～体験談から学ぶ成年後見制度～	目黒区社会福祉協議会	1人
2/8・9	しいの実社	英国からまなぶこと 今私たちができること	日本自閉症協会	1人
2/17	沙羅の家	Dカフェ・がーべら	NPO 法人「D カフェ」	1人
2/22	しいの実社	アセスメントから始まる行動障害の特性理解	東京都社会福祉協議会	2人

(2) 内部研修

内部研修実施日	施設名	研修内容	対象者	講師
6/20・26	全施設	社会福祉法人に求められる職業倫理について	全職員	目黒障害者就労支援センター 副理事長 白鳥千恵子氏
7/31・8/1	全施設	氷山モデルを用いて、問題行動の表面下にある要因を考える、本人中心の支援について	全職員	しいの実社 小平施設長
9/19・25	全施設	本人中心支援とは、合理的配慮とは何か	常勤職員	沙羅の家 長谷施設長
9/24	全施設	ハラスメントについて考える	管理職員	目黒障害者就労支援センター 副理事長 白鳥千恵子氏
1/31	全施設	障がい者の人権条約、関連法と合理的配慮の理解	全職員	東京都登録講師 派遣事業講師 小原 俊治氏
3/31	全施設	利用者の生活を豊かにするために～本人を知るためのアセスメント～	全職員	(福)睦月会 理事長 日本福祉大学教授 綿 祐二氏

5.地域・関係機関との連携

(1) 実習・体験・見学

見学

受入施設名	実習・見学等依頼先	人数
しいの実社・学大スマイル	利用希望 ・進路先として(青鳥特別支援学校・田園調布特別支援学校・第 8 中学校・品川特別支援学校)保護者その他事業所	107 人
しいの実社	民生委員 (地域施設を理解する 20 人)・不動小学校(町探検)近隣クリニック	42 人
しいの実社	施設立ち上げ準備のための見学	1 人
しいの実社	フードロスの有効活用	2 人
しいの実社・沙羅の家	基幹相談支援	5 人
しいの実社	製品購入のための見学	2 人
地域生活支援拠点	文京区障害福祉課	4 人
地域生活支援拠点	社会福祉士実習生	1 人

相談

受入施設名	目的・相手先	人数
しいの実社・学大スマイル	商品を扱いたいなど 学大近隣店舗等	5 人
しいの実社	フードロス・子ども食堂関連 NPO 他	3 人
しいの実社	新規(再開含む)販売依頼等	1 人
しいの実社	利用・実習希望 青鳥・田園調布・港特別支援学校・大田区他	38 人

実習

受入施設名	目的・相手先	人数
学芸大学スマイルプラザ	就労アセスメント (青鳥特別支援学校)	1 人
しいの実社	保育実習 (東洋英和女学院大学)	1 人
しいの実社	現場実習 (田園調布特別支援学校、)	3 人
しいの実社・学芸大学スマイルプラザ	就業体験 (目黒区第八中学校)	4 人

(2) 相談支援事業所利用実績

事業所名	たんぽぽ	あいアイ館	リタリコ	目黒相談支援センター	架け橋	ケアプラン	その他	他区	なし	合計
人数	29	14	12	8	0	2*	0	2	0	67*

1名はその他とケアプランを重複

(3) 広報紙「萌木」の発行

- ① 対象者 行政、議会、学校、関係機関、利用者、家族、ボランティア、後援会会員等
- ② 発行時期 4月、10月
- ③ 発行部数 750部
- ④ 内容
 - 【4月号】
 - ・ 巻頭文: 青鳥特別支援学校元統括校長 諏訪 肇氏
 - ・ 2024年度事業計画、虐待防止研修実施報告
 - ・ 第22回 しいの実祭報告
 - ・ 学芸大学店舗での活動について
 - ・ 後援会会員インタビュー
 - まぶたとヒフのクリニック、おがわこどもクリニック、神定工務店
 - ・ 沙羅の家 生活状況(向原)、地域生活支援拠点活動報告
 - 【10月号】
 - ・ 巻頭文: 目黒区健康福祉部 部長 保坂 春樹氏
 - ・ しいの実社研修宿泊旅行報告
 - ・ PRANKPLAN ライブ、家族会懇親会報告
 - ・ 後援会会員インタビュー
 - かきのき眼科、(医)田島厚生会、café & Restaurant まさひろ
 - ・ 合同外出イベント、秋の例大祭報告

(4) 通信「しいの実通信」の発行

- ① 対象者 利用者、家族
- ② 発行時期 5 月、10 月、1 月
- ③ 発行部数 70 部
- ④ 内容 5 月
 - 入社式の様子
 - 施設長挨拶
 - 新入社員紹介
 - 新入職員紹介
 - スタッフ紹介

10 月

- 利用者研修宿泊旅行報告
- 新入職員紹介

1 月

- 巻頭文:理事長・施設長
- しいの実祭報告
- 新入職員紹介

(5) 後援会だよりの発行(発行 後援会)

- ① 対象者 後援会員
- ② 発行時期 4 月、10 月
- ③ 発行部数 600 部
- ④ 内容 【4 月号】
 - 巻頭:会長挨拶
 - HappyJapanProject 様 寄付報告
 - 第 22 回 しいの実祭報告
 - 後援会支援報告 【10 月号】
 - 巻頭:会長挨拶
 - 事業報告会報告
 - イベント販売再開
 - 後援会 2023 年度収支決算報告／2024 年度収支予算

(6) 事業報告会

事業報告会

実施月日	7 月 20 日(土)10:00～13:00
場 所	目黒区役所 大会議室
参 加 人 数	137 名

しいの実社カタログ販売

実施月日	6 月 17 日～8 月 9 日
送 付 先	後援会員および法人関係者
売 上 金 額	146,200 円

4. 委員会報告

(1) 安全衛生委員会

法人として職場環境、利用者・職員の安全衛生について実施要綱に基づき運営した。

月日	主な内容	出席人数
4/9	2024 年度体制の確認、感染症について、BCP の見直しの進め方について	8 人(うち委員 6 人)
5/14	BCP(自動参集の仕組み)について、事務局について	10 人(うち委員 7 名)
6/11	BCP(自動参集)の想定季節について	10 人(うち委員 7 名)
7/9	BCP について、感染症発生状況について 他	8 人(うち委員 5 名)
8/13	BCP について、目黒区災害協定について	9 人(うち委員 7 名)
9/10	BCP について他	9 人(うち委員 7 名)
10/8	感染症について、年間予定について、BCP	10 人(うち委員 7 名)
11/12	感染症について、BCP 時間帯別シミュレーションについて、	7 人(うち委員 6 人)
12/17	感染症状況報告、BCP 被災想定に沿った課題抽出、ヒヤリハットについて	9 人(うち委員 7 人)
1/14	感染症状況について、昨年 12 月中旬から各施設でインフルエンザ A 型が流行。ノロウイルス対応方法に講義(佐川看護師、しいの実社にて)	9 人(うち委員 6 人)
2/19	感染症について、スタッフメンタルヘルス:しいの実社 産業医の健康相談を全員に実施予定 BCP 自動参集の行動基準 次回確認	8 人(うち委員 7 人)
3/11	感染症発生状況確認、スタッフメンタルヘルス、BCP 行動基準案確認→フローチャート化予定	8 人(うち委員 6 人)

(2) 虐待防止委員会

虐待が起きない職場風土づくりの醸成、維持をし、人権尊重、本人の意思を尊重した対応を浸透するように不適切ケアの確認を行い、意識の向上を図った。

月日	主な内容	出席人数
4/9	2024 年度体制の確認、不適切ケアについて、研修について、年間予定確認	8 人(うち委員 6 人)
5/14	不適切ケアの事例疑いについて、研修候補日について	10 人(うち委員 7 名)
6/11	不適切ケア:呼称について議論、研修担当決定	10 人(うち委員 7 名)
7/9	不適切ケア:呼称について(沙羅の家運営会議での検討報告) 他	8 人(うち委員 5 名)
8/13	不適切ケアの事例疑いについて、研修進捗状況	9 人(うち委員 7 名)
9/10	不適切ケアの事例疑いについて、研修進捗状況	9 人(うち委員 7 名)
10/8	虐待防止研修について	10 人(うち委員 7 名)
11/12	虐待防止チェックリスト集計結果報告、傾向の分析。虐待防止研修について	7 人(うち委員 6 人)
12/10	虐待防止研修確認、経済的虐待疑い事例報告	9 人(うち委員 7 人)
1/14	虐待防止研修確認、年間予定について	9 人(うち委員 6 人)
2/18	不適切ケア事例報告・検討、虐待防止研修報告	8 人(うち委員 7 人)
3/11	虐待防止研修報告(未受講者確認)、次年度予定について	8 人(うち委員 6 人)

(3) 身体拘束適正化委員会

月日	主な内容	出席人数
4/9	2024 年度体制の確認、身体拘束事例なし	8 人(うち委員 6 人)
5/14	身体拘束事例なし、事務局について	10 人(うち委員 7 名)
6/11	身体拘束事例なし	10 人(うち委員 7 名)
7/9	身体拘束等の適正化のための指針・倫理綱領確認、身体拘束事例なし	8 人(うち委員 5 名)
8/13	指針の確認・検討、身体拘束事例なし	9 人(うち委員 7 名)
9/10	指針の確認・検討、身体拘束事例なし	9 人(うち委員 7 名)
10/8	身体拘束事例なし	10 人(うち委員 7 名)
11/12	指針の確認 身体拘束事例なし	7 人(うち委員 6 人)
12/10	指針の確認 身体拘束事例なし	9 人(うち委員 7 人)
1/14	身体拘束事例なし	9 人(うち委員 6 人)
2/18	身体拘束事例なし	8 人(うち委員 7 人)
3/11	身体拘束事例なし	8 人(うち委員 6 人)

(4) 研修委員会

法人職員にとって必要な研修内容を各施設の代表職員で検討し、計画立案、実施する。

3 月 31 日に全体研修を実施した。

月日	主な内容	出席人数
9/18	要綱確認、基本方針、2023 年度振り返り、2024 年度方針について、もえぎの会職員に必要なこと(研修)について意見交換	9 人
10/29	研修内容および打診する講師検討	8 人
12/24	講師(綿氏)へ依頼する研修内容の検討	7 人
3/17	講師との打ち合わせ	5 人

III. 施設別

1. 本部

法人総務を司り、各施設と連携をとりながら運営を進めた。重点課題である本部機能の強化を目指し、しいの実社の施設事務の移管を進めた。

(1) スタッフの異動

2025 年 4 月 1 日現在

	本部					しいの実社				
	4/1	退職	異動	採用	現員	4/1	退職	異動	採用	現員
正 規	1	0	0	0	1	14	0	0	2	16
契 約	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パ ー ト	2	0	0	0	2	9	3	0	1	7
計	3	0	0	0	3	23	3	0	3	23
	しいの実社学芸大学スマイルプラザ					沙羅の家				
	4/1	退職	異動	採用	現員	4/1	退職	異動	採用	現員
正 規	5	2	0	1	4	23	1	0	3	25
契 約	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パ ー ト	10	2	0	4	12	9	1	0	0	8
計	15	4	0	5	16	32	2	0	3	33

	合 計				
	4/1	退職	異動	採用	現員
正 規	43	3	0	6	46
契 約	0	0	0	0	0
パ ー ト	30	6	0	5	29
計	73	9	0	11	75

しいの実社の新規採用はパート・スタッフの登用

(2) 会議運営

① 理事会

開催日	主な内容	出席人数
5/28	2023 年度事業報告、2023 年度決算、評議員会開催	理事 6 人 監事 2 人
10/29	2024 年度上半期事業報告、補正予算案、規程変更、評議員会開催	理事 5 人 監事 1 人
3/4	2025 年度事業計画案、予算案、積立金管理、ランチ業者業務委託契約	理事 6 人 監事 2 人

② 評議員会

開催日	主な内容	出席人数
6/18	2023 年度事業報告、2023 年度決算	評議員 6 人 監事 2 人
11/19	2024 年度上半期事業報告、補正予算案	評議員 6 人 監事 1 人
3/25	2025 年度事業計画案、予算案	評議員 8 人 監事 1 人

③ 評議員選任解任委員会

2024 年度開催なし

④ 後援会(役員会)

開催日	主な内容	出席人数
6/4	もえぎの会 2023 年度事業報告・決算報告(案)、後援会 2023 年度事業計画・予算、事業報告会・総会の開催内容検討	役員 2 人 運営委員 9 人
9/3	会員募集状況、カタログ販売・事業報告会・演奏会の報告、広報報告、しいの実祭検討	役員 3 人 運営委員 9 人
12/5	しいの実祭報告、会員募集状況確認、販売促進	役員 2 名 運営委員 6 名 菅波氏
3/4	もえぎの会事業計画・予算案等、事業報告会について、法人広報について	役員 2 名 運営委員 8 名

⑤ 後援会(運営委員会)

開催日	主な内容	出席人数
4/2	事業報告会・総会検討、広報発送作業について	運営委員 6 人
5/7	販売促進、総会・事業報告会について	運営委員 7 人
6/4	事業報告会案内発送、しいの実祭について	運営委員 9 人
7/2	総会・事業報告会の流れについて確認	運営委員 9 人
8/6	事業報告会振り返り、カタログ販売、広報について	運営委員 7 人
9/3	広報発送作業について	運営委員 9 人
10/4	会員勧誘、販売促進、広報、しいの実祭について	運営委員 9 人
11/5	会員勧誘、販売促進、しいの実祭について	運営委員 9 人
12/5	しいの実祭について、会員募集状況他	運営委員 6 人
1/7	しいの実祭報告続報、年賀状発送等について	運営委員 6 人
2/5	会員募集状況、販売促進、法人広報について	運営委員 5 人
3/4	総会検討、会員募集状況、次年度予定について	運営委員 8 人

⑥ 幹部会

開催月	主な内容
4/9	理事会準備スケジュール確認、事業計画について、月次報告書式改定
5/14	理事会について、事業報告会について、各部門報告
6/11	事業報告会について、各部門報告
7/9	事業報告会について、規程について、各部門報告
8/13	事業報告会振り返り、予算執行状況について、各部門報告
9/11	上半期事業報告、助成金情報、各部門報告
10/9	理事会・上半期事業報告について、規程変更、職場の規律について
11/12	各施設より、居住支援特別手当について、しいの実祭について(依頼等)
12/10	理事長より、しいの実祭報告、各施設より
1/14	理事長より、理事会および 2025 年度重点課題について、各施設より、事務局より：懇親会・人事考課制度について
2/18	事業計画・予算案・理事会について、理事長より、NAS 入替について、年間予定、しいの実社ランチ代値上げについて
3/11	理事長より、2025 年度重点課題について、各施設より

(3) 家族会

もえぎの会家族会としてしいの実社と沙羅の家の家族会を統合し、年 5 回開催。

	月日	出席人数	主な内容
第 1 回	4/8 (月)	38 人	新規利用者紹介、スタッフ体制、法人運営、各施設運営状況の報告、職員研修報告等
第 2 回	7/1(月)	20 人	スタッフ体制、法人運営、各施設運営状況報告、ご家族インタビュー(法人創設時の思いを聴く)等
第 3 回	10/7(月)	29 人	スタッフ状況、各施設より、スタッフ研修について
第 4 回	1/27(月)	27 人	スタッフ状況、法人運営状況、各施設より(今後の予定)、家族会懇親会について
第 5 回	3/3(月)	18 人	スタッフ状況、法人運営状況、各施設より

2. しいの実社

経験年数の長いスタッフが増え、スタッフの層が厚くなっている。利用希望・製品取引の問合せも引き続きある。クッキーは、製品改善により、好評を得ているが、体制が硬直化して受注が追いついていない状況もあり、体制の見直しが必要である。

(1) 利用者状況(障害別・性別・年代別) 4/1 現在

種別等		生活介護	就労継続 B	計
性別	男	19 人	7 人	26 人
	女	6 人	5 人	11 人
	計	25 人	12 人	37 人
年代別	10 代	0 人	2 人	2 人
	20 代	1 人	0 人	1 人
	30 代	6 人	3 人	9 人
	40 代	5 人	3 人	8 人
	50 代	13 人	3 人	16 人
	60 代	0 人	1 人	1 人
	70 以上	0 人	0 人	0 人
	計	25 人	12 人	37 人
愛の手帳	2 度	14 人	4 人	18 人
	3 度	10 人	5 人	15 人
	4 度	1 人	3 人	4 人
	計	25 人	12 人	37 人
障害支援区分	未判定	0 人	0 人	0 人
	区分 1	0 人	0 人	0 人
	区分 2	0 人	0 人	0 人
	区分 3	1 人	4 人	5 人
	区分 4	7 人	4 人	11 人
	区分 5	14 人	3 人	17 人
	区分 6	3 人	1 人	4 人
	計	25 人	12 人	37 人

(2) 利用状況

				2024 年度	2023 年度	2022 年度
生活介護	開 所 日 数	土曜開所	有	253	253	253
			無	242	242	242
	延 べ 利 用 人 数	土曜開所	有	6069	6107	5900
			無	5899	5937	5732
	平 均 利 用 人 数 / 日	土曜開所	有	23.9 人 / 日	24.1 人 / 日	23.3 人 / 日
			無	24.3 人 / 日	24.5 人 / 日	23.7 人 / 日
就労継続 B	開 所 日 数	土曜開所	有	253	253	253
			無	242	242	242
	延 べ 利 用 人 数	土曜開所	有	2747	2310	2219
			無	2685	2248	2162
	平 均 利 用 人 数 / 日	土曜開所	有	10.8 人 / 日	9.1 人 / 日	8.8 人 / 日
			無	11.0 人 / 日	9.3 人 / 日	8.9 人 / 日
	出 社 率	土曜開所	有	95.9%	96.6%	97.2%
			無	97.5%	98.1%	98.7%
	出 社 率	土曜開所	有	90.5%	91.3%	94.3%
			無	92.5%	92.9%	96.1%

(3) 利用者工賃

単位: 円

		給料 (賞与含む)	1 人当たり	
			年額	月額
2024 年度	生活介護	6,799,490	271,980	22,665
	就労継続 B	2,943,780	245,320	20,433
2023 年度	生活介護	6,783,560	308,343	25,695
	就労継続 B	2,617,810	261,781	21,815
2022 年度	生活介護	6,352,200	264,675	22,056
	就労継続 B	2,092,950	251,840	20,987

(4) 販売

単位:円

年 度		店 舗			施設外販売		計
		しいの実社	学芸大学	さんまるしえ	イベント	区役所	
2 0 2 4	営業日	238 日	238 日	290 日	17 日	23 日	806 日
	売上額	5,236,395	14,768,970	3,731,150	2,173,569	961,930	26,872,014
	平均日額	22,001	62,054	12,866	127,857	41,823	33,339
2 0 2 3	営業日	238 日	238 日	295 日	17 日	24 日	812 日
	売上額	5,720,110	14,918,270	3,649,920	2,519,320	1,003,890	27,811,510
	平均日額	24,034	62,681	12,372	148,195	41,828	34,250
2 0 2 2	営業日	241 日	240 日	297 日	9 日	23 日	808 日
	売上額	5,687,714	13,387,420	3,154,630	1,469,330	882,670	24,581,764
	平均日額	23,600	55,781	10,621	163,258	38,377	30,423

イベントにしいの実祭含む

(5) 土曜日開所プログラム

実施日	主な内容	参加人数
4/20	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 30 人、スタッフ 6 人
5/18	映画鑑賞・昼食会(外食)	社員 32 人、スタッフ 7 人
6/15	映画鑑賞・昼食会(外食)	社員 33 人、スタッフ 6 人
7/13	映画鑑賞・昼食会(外食)	社員 30 人、スタッフ 6 人
8/17	昼食会(外食)・生バンドコンサート	社員 38 人、スタッフ 8 人、ボランティア 2 名
9/21	映画鑑賞・昼食会(外食)	社員 29 人、スタッフ 6 人、ボランティア 1 名
10/19	映画鑑賞・昼食会(外食)	社員 29 人、スタッフ 6 人、ボランティア 1 名
12/21	音楽鑑賞・昼食(モスバーガー)	社員 34 人、スタッフ 6 人、ボランティア他 4 名
1/18	映画鑑賞・昼食会(外食)	社員 27 人、スタッフ 6 人
2/15	映画鑑賞・昼食会(外食)	社員 31 人、スタッフ 6 人
3/15	昼食会(外食)・カラオケ	社員 33 人、スタッフ 7 人、ボランティア 2 名

(6) 年間行事

・ 宿泊研修旅行

実施月日	9月5日(木)～6日(金) 1泊2日
実施場所	群馬県 伊香保温泉 スタッフ業務の簡便化、経費削減を目指し、2013年以降初めて旅行会社を変更した。初参加の方も含め、社員の方たちは、カラオケや温泉を楽しんだ。
参加者	社員 54人・スタッフ 27人・ボランティア 2人 合計参加者 83人

・ しいの実祭

実施月日	11月30日(土)
実施内容	清水町会・後援会・天ぷら割烹かわさきなど多くの方のご協力を得て、区長をはじめたくさんの方にご来場いただき、大盛況だった。店舗の前にはパンを買い求める方の行列ができ、完売した。綿あめにも列ができ、クッキー・パンともに過去最高の売れ行きとなった。当日の来場者は約 2000人を超え、好評のカatalogも同時に発行し、多くの方にしいの実社を知って頂く機会となった。
参加者	社員 55人・スタッフ 42人・ボランティア 46人 合計参加者 143人

(7) スタッフ会議

① 運営会議

	主な内容
4/16	施設長より(2023年度の重点課題と2024年度事業計画について、もえぎの会家族会報告、見学実習)、事務局より(36協定)、沙羅の家より(スタッフ体制、年間予定、新入居状況)、虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会より、苦情解決について、安全衛生委員会より、課長・各部門より、係より、研修報告
6/25	施設長より、2023年度重点課題・2024年度重点課題について、もえぎの会家族会報告、沙羅の家より、虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会より、安全衛生委員会より、課長・各部門より、係より、研修報告、物品廃棄・文書保存について
8/20	2024年度重点課題について、事務局より(再雇用規定について)、沙羅の家より、虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会より、安全衛生委員会より、係より、実習受け入れについて、個別支援計画について、研修報告について
10/15	理事長より、事務局より、施設長より(2024年度重点課題、スタッフ、会議録、健康相談、家族会報告)、事務局より、沙羅の家より、虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会より、安全衛生委員会より、課長・各部門より、係より(catalog等)、研修報告

12/17	看護師より(感染症講習)、施設長より(2024 年度重点課題、幹部会、スタッフについて、会議録、健康相談、家族会、ケース会議)、事務局より、沙羅の家より、虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会より、安全衛生委員会より、課長・各部門より、係より(カタログ等)、研修報告
2/25	施設長より(2024 年度重点課題、スタッフについて、健康相談、意思決定支援)、沙羅の家より、虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会より、安全衛生委員会より、課長・各部門より、係より(カタログ等)、実習受け入れについて、研修報告
3/31	全職員対象法人全体研修・ 2025 年度について(スタッフ体制、係担当、社員担当、年間予定について)

② チーフ会議

	主な内容
5/21	2023 年度事業報告・決算、2024 年度事業計画重点課題、介護給付費等について、定員在籍について、生産体制について、各部門より、第三者評価について、実習受け入れについて
7/16	2023 年度重点課題、スタッフについて、各部門より、旅行について、実習受け入れについて
9/17	2024 年度事業計画・重点課題について、スタッフについて、各部門より、チームビルディング、在籍定員について
11/26	しいの実祭(目的、配置、担当)、2024 年度重点課題、実習受け入れ
1/21	2024 年度事業計画・重点課題について、スタッフについて、各部門より、課長より、社員定員在籍について、その他(見学、ケース会議など)
3/18	2024 年度重点課題、2025 年度重点課題、2025 年度(スタッフ体制、社員担当、係担当)、社員定員在籍確認

3. しいの実社学芸大学スマイルプラザ

本年度は実習希望者 2 名を受け入れ、内 1 名が 25 年度より利用開始。学大店での実習も安定して実施できており、自分が作ったパンがお客様の手に渡るのを直接体験できる貴重な場所として機能している。

また、年明けからはコメ不足の影響からか売り上げが伸びてきており、客数も増加傾向。地域との窓口としての機能も果たしている。

(1) 利用者状況(障害別・性別・年代別)

種別等		就労継続B	就労移行	計
性別	男	12 人	2 人	14 人
	女	7 人	1 人	8 人
	計	19 人	3 人	22 人
年代別	10 代	0 人	0 人	0 人
	20 代	5 人	3 人	8 人
	30 代	7 人	0 人	7 人
	40 代	2 人	0 人	2 人
	50 代	2 人	0 人	2 人
	60 代	1 人	0 人	1 人
	70 以上	2 人	0 人	2 人
	計	19 人	3 人	22 人
愛の手帳	2 度	5 人	1 人	6 人
	3 度	9 人	2 人	11 人
	4 度	5 人	0 人	5 人
	計	19 人	3 人	22 人
障害支援区分	未判定	0 人	1 人	1 人
	区分 1	0 人	0 人	0 人
	区分 2	1 人	0 人	1 人
	区分 3	7 人	1 人	8 人
	区分 4	10 人	1 人	11 人
	区分 5	1 人	0 人	1 人
	区分 6	0 人	0 人	0 人
	計	19 人	3 人	22

(2) 利用状況

				2024 年度	2023 年度	2022 年度
就労移行	開 所 日 数	土曜開所	有	253	253	253
			無	242	242	243
	延 べ 利 用 人 数	土曜開所	有	479	908	722
			無	470	888	713
	平 均 利 用 人 数 / 日	土曜開所	有	1.9 人/日	3.6 人/日	2.9 人/日
			無	1.9 人/日	3.7 人/日	2.9 人/日
	出 社 率	土曜開所	有	94.6%	89.7%	95.1%
			無	97.1%	91.7%	97.8%
就労継続 B	開 所 日 数	土曜開所	有	253	253	253
			無	242	242	243
	延 べ 利 用 人 数	土曜開所	有	4341	4134	4476
			無	4231	4042	4557
	平 均 利 用 人 数 / 日	土曜開所	有	17.1 人/日	16.3 人/日	17.6 人/日
			無	17.4 人/日	16.6 人/日	18.7 人/日
	出 社 率	土曜開所	有	90.3%	81.7%	88.0%
			無	92.0%	83.5%	93.5%

(3) 利用者工賃

	事業名	総支給額 (賞与含む)	1 人当たり	
			年額	月額
2024 年度	就労移行	480,830	240,415	20,035
	就労継続 B	4,807,120	240,356	20,030
2023 年度	就労移行	926,440	308,813	25,734
	就労継続 B	4397450	314,103	26,175
2022 年度	就労移行	721,378	228,284	19,024
	就労継続 B	4,907,700	244,197	20,350

(4) 販売

※しいの実社に記載

(5) 土曜日開所プログラム

※しいの実社と同様

(6) 年間行事

① 宿泊研修旅行 しいの実社と同様

② 日帰り研修旅行

10月28日(月) 浅草方面 利用者1名 職員1名

(7) スタッフ会議

① 運営会議

※しいの実社と同様

② チーフ会議

※しいの実社と同様

4. 沙羅の家

2023 年度に沙羅の家清水 C の利用者が退寮し、空室となっていたが 4 月に 1 名新規利用者が入居し、38 名満室で運営している。

一昨年度、昨年度と沙羅の家正規職員の離職が多く運営が不安定であったが、2024 年度は労働環境の改善として、下半期より全ユニットで全日夜勤体制を導入し、職員の勤務時間を削減した。これにより、職員の負担が軽減され、より働きやすい環境を整えることができた。また、夜勤が増えたことによるコミュニケーション不足を補うため、シフト作成においてもユニットの兼務を極力減らし、職員間の情報共有が図られるように努めた。このような取り組みの結果、沙羅の家正規職員の退職者はゼロとなった。

365 日稼働のスタッフ体制としたため、休日の利用率が減少し、運営収支は課題となった。

(1) 利用者状況

① 性別・年代別

性 別			年 代 別							
男	女	計	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 以上	計
32 人	6 人	38 人	0 人	0 人	5 人	7 人	18 人	5 人	3 人	38 人

② 障害種別等

愛の手帳				障害支援区分					
2 度	3 度	4 度	計	2	3	4	5	6	計
16 人	15 人	7 人	38 人	0 人	4 人	15 人	15 人	4 人	38 人

③ 居住年数

居住年数					
1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上	計
1 人	0 人	2 人	20 人	15 人	38 人

④ 利用率

	南	向原	大岡山	清水 A	清水 B	清水 C	月計
4 月	162	176	169	111	139	154	911
	90%	84%	80%	62%	77%	86%	80%
5 月	166	172	165	116	135	154	908
	89%	79%	76%	62%	73%	83%	77%
6 月	156	170	159	105	135	145	870
	87%	81%	76%	58%	75%	81%	76%
7 月	159	168	165	127	141	152	912
	85%	77%	76%	68%	76%	82%	77%
8 月	165	176	155	141	136	153	926
	89%	81%	71%	76%	73%	82%	79%
9 月	153	151	142	121	121	141	829
	85%	72%	68%	67%	67%	78%	73%
10 月	168	183	166	131	143	158	949
	90%	84%	76%	70%	77%	85%	81%
11 月	162	168	144	123	135	148	880
	90%	80%	69%	68%	75%	82%	77%
12 月	162	159	154	127	123	144	869
	87%	73%	71%	68%	66%	77%	74%
1 月	151	158	163	129	127	140	868
	81%	73%	75%	69%	68%	75%	74%
2 月	153	161	153	132	124	138	861
	91%	82%	78%	79%	74%	82%	81%
3 月	141	168	177	137	130	153	906
	76%	77%	82%	74%	70%	82%	77%
年間	1898	2010	1912	1500	1589	1780	10689
	86%	79%	75%	68%	73%	81%	77%

(2) 年間行事(外出プログラム)

実施日	施設	内 容	参加人数
2/11	沙羅の家(南)	祝日イベント(ランチ・避難訓練)	利用者 6 名、職員 2 名
2/11	沙羅の家向原	祝日イベント(ランチ・避難訓練)	利用者 7 名、職員 3 名
2/11	沙羅の家大岡山	祝日イベント(ランチ・避難訓練)	利用者 4 名、職員 2 名
2/11	沙羅の家清水 A	祝日イベント(ランチ・避難訓練)	利用者 4 名、職員 3 名
2/11	沙羅の家清水 B	祝日イベント(ランチ・避難訓練)	利用者 5 名、職員 2 名
2/11	沙羅の家清水 C	祝日イベント(ランチ・避難訓練)	利用者 5 名、職員 2 名
3/20	全ユニット	祝日合同外出イベント (車窓観光・中華ランチ)	利用者 36 名、職員 21 名

(3) スタッフ会議

① 運営会議

	内 容
4 月	新年度について(スタッフ体制、重点課題、年間予定など)
6 月	もえぎの会スタッフ体制について、第三者評価の結果について
8 月	下半期シフトについて、日中支援検討 PT、再雇用規程について
10 月	虐待防止委員会より(研修、セルフチェックリスト実施など)、しいの実祭について
12 月	次年度に向けて(理事長資料より)、研修報告など
2 月	沙羅の家利用率向上に向けて、合同外出イベントについて、感染症について

② チーフ会議

	内 容
5 月	家族懇親会について、施設長面談について、受給者証の更新手続きについて
7 月	各ユニット近況報告(利用者・家族・職員・設備改修など)、災害時協定について
9 月	設備改修に活用できる各種補助金について、ヒヤリハット分析結果、GH 利用率について
11 月	アセスメントシート作成について、虐待防止チェックリスト結果について、BCP のブラッシュアップについて
1 月	事務局より(小口現金の管理について、夜勤者の健康診断など)、合同外出イベントについて
3 月	次年度重点課題について、虐待防止委員会報告(不適切ケア)

③ 部課長会議

	内 容
5 月	職員の研修受講予定について、地域連携推進会議について、報酬改定について
7 月	施設長面談結果について、目黒区との災害協定について、体制強化補助金について
9 月	職員研修受講状況について、沙羅の家の収支(経費削減)について
3 月	沙羅の家利用率目標について、次年度職員体制について

(4) 家族懇親会

日付	ユニット	参加者
5/27	沙羅の家清水 B	家族 4 名、職員 4 名
5/28	沙羅の家(南)	家族 3 名、職員 5 名
5/29	沙羅の家清水 C	家族 2 名、職員 4 名
5/30	沙羅の家向原	家族 4 名、職員 5 名
6/4	沙羅の家大岡山	家族・関係者 4 名、職員 4 名
6/5	沙羅の家清水 A	家族 6 名、職員 6 名
10/23	沙羅の家大岡山	家族・関係者 4 名、職員 4 名
10/29	沙羅の家清水 A	家族 4 名、職員 6 名
10/30	沙羅の家清水 C	家族 2 名、職員 4 名
11/5	沙羅の家清水 B	家族 5 名、職員 6 名
11/6	沙羅の家(南)	家族 3 名、職員 6 名
11/7	沙羅の家向原	家族 3 名、職員 5 名

5. 短期入所

今年度も利用人数、日数ともに昨年度を大幅に上回る結果となった。

新規利用者は着実に増え、更に固定利用者もコンスタントに利用されている。

今後は空き状態を確認しながら、固定利用者に対し、『緊急利用』を積極的に展開する。

(1) 利用実績

月	種別	利用人数			利用日数			利用率		
		2024	2023	2022	2024	2023	2022	2024	2023	2022
4月	体験	27	16	15	64	42	38			
	緊急	0	1	1	0	4	3			
	計	27	17	16	64	46	41	106.7%	76.7%	68.3%
5月	体験	24	17	13	57	45	31			
	緊急	0	5	4	0	12	11			
	計	24	22	17	57	57	42	91.9%	91.9%	67.7%
6月	体験	30	18	11	72	45	27			
	緊急	0	2	6	0	19	15			
	計	30	20	17	72	64	42	120.0%	106.7%	70.0%
7月	体験	27	18	14	64	44	36			
	緊急	0	2	10	0	6	25			
	計	27	20	24	64	50	61	103.2%	80.6%	98.4%
8月	体験	28	25	14	65	62	37			
	緊急	0	0	5	0	0	14			
	計	28	25	19	65	62	51	104.8%	100.0%	82.3%
9月	体験	30	27	14	68	59	36			
	緊急	1	1	4	4	3	9			
	計	31	28	18	72	62	45	120.0%	103.3%	75.0%
10月	体験	32	21	15	75	53	35			
	緊急	0	2	3	0	7	10			
	計	32	23	18	75	60	45	121.0%	96.8%	72.6%
11月	体験	29	24	15	69	55	40			
	緊急	1	0	4	2	0	8			
	計	30	24	19	71	55	48	118.3%	91.7%	80.0%
12月	体験	32	28	19	75	66	46			
	緊急	0	0	1	0	0	2			
	計	32	28	20	75	66	48	121.0%	106.5%	77.4%

1 月	体験	25	23	15	62	55	39			
	緊急	0	1	4	0	3	10			
	計	25	24	19	62	58	49	100.0%	93.5%	79.0%
2 月	体験	30	26	18	68	61	44			
	緊急	0	1	0	0	2	0			
	計	30	27	18	68	63	44	121.4%	112.5%	78.6%
3 月	体験	27	29	21	66	71	52			
	緊急	0	1	1	0	4	3			
	計	27	30	22	66	75	55	106.5%	121.0%	88.7%
計	体験	341	272	184	805	658	461			
	緊急	2	16	43	6	60	110			
	計	343	288	227	811	718	571	111.1%	98.4%	78.0%

(2) 利用者の障害種別

単位 人

種別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
知的	27	24	30	27	28	31	32	30	32	25	30	27	343
身体	0	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	12
精神	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	1	2	7
他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	27	25	32	29	29	33	33	31	34	27	32	30	362

※重複あり

(3) 緊急利用の理由

レスパイト	0 件
冠婚葬祭	0 件
介護者の通院・入院等	0 件
家族との一時的分離	0 件
その他	2 件

6. 地域生活支援拠点（目黒区委託事業）

2024 年度は報酬改定があり、地域生活支援拠点事業が法的にも位置付けられ、「体験の機会・場」、「緊急時の受け入れ・対応」の機能強化が鮮明になった。目黒区の地域生活支援拠点は「体験の機会・場の提供」として沙羅の家清水に併設の短期入所の稼働率を積極的に高めてきたが、地域の社会資源が乏しいため、GH の入居や一人暮らしなどの地域移行にはつながっていない。一方、緊急の受け入れ・対応については、実績が少ないため課題となっているので、2025 年度は区及び基幹相談支援センターと協議しながら機能の強化を図っていく。

地域づくりの一環として、外部会議等に拠点としても積極的に参加し自立支援協議会や相談支援部会、基幹相談支援センター運営会議などだけではなく、相談支援事業所の関係者会議等にも参加し、関係機関との連携を図り地域の体制作りをおこなった。

（1）相談・支援件数

単位 人

			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
2024	相談	実人数	95	80	60	76	100	91	71	49	64	62	74	68	890
		延人数	135	126	94	144	163	144	117	120	106	129	248	124	1650
	支援	実人数	23	22	25	24	23	22	25	19	23	25	18	25	274
		延人数	52	59	53	87	75	52	61	82	60	86	183	69	919
2023	相談	実人数	50	45	59	44	72	54	47	49	45	42	52	54	613
		延人数	115	105	140	102	146	121	128	121	98	81	116	102	1375
	支援	実人数	23	13	21	18	23	22	14	19	17	14	22	32	238
		延人数	50	35	52	46	59	48	45	46	41	31	53	54	560
2022	相談	実人数	31	23	31	39	43	40	40	38	45	42	47	39	458
		延人数	72	72	61	75	122	78	78	92	90	100	86	104	1030
	支援	実人数	17	26	17	24	17	21	14	11	17	15	18	14	211
		延人数	29	51	37	42	47	29	29	35	38	41	35	42	455

（2）相談者の障害種別

種別	身体	知的	精神	難病	児童	その他	重複	不明	合計
人数	5	666	118	0	0	5	123	2	919

※障害種別は本人・家族のみを対象としている。

(3) 主な相談内容

	主な内容	件数
1	日常生活	270
2	金銭管理	53
3	家族関係	128
4	人間関係	38
5	職場関係	196
6	近隣関係	2
7	緊急対応	15
8	短期入所	569
9	体調	112
10	福祉サービス	335
11	その他	285
	合計	2003

(4) 主な支援内容

	主な内容	件数
1	傾聴助言	474
2	相談継続	2
3	家庭訪問	1
4	紹介	1
5	緊急対応	5
6	安否確認	0
7	見守り	0
8	短期入所	12
9	付き添い	3
10	調整	249
11	その他	674
	合計	1421

(5) 研修

実施日	研修名	実施主体	参加数
4/11	報酬改定について	目黒区基幹相談支援センター	1名
5/9	成年後見制度	東京サポート協会	1名
10/8	障害者のお金について	目黒区手をつなぐ親の会	2名
10/21	相談支援従事者初任者研修	東京都	2名
10/22	相談支援従事者初任者研修	東京都	2名
11/18	成年後見制度	東京サポート協会	1名
11/20	相談支援従事者初任者研修	東京都	2名
12/19	相談支援従事者初任者研修	東京都	1名
1/15	相談支援従事者初任者研修	東京都	1名
1/27	相談支援専門員初任者研修	東京都	2名
1/28	相談支援専門員初任者研修	東京都	2名
1/29	「後見人やってみた」体験談から学ぶ成年後見制度	めぐろ成年後見ネットワーク	1名
1/31	障害者地域生活支援体制整備事業 オンライン研修*	厚生労働省	2名

(6) 見学

- ・7月 社会福祉士実習生の施設見学 1件
- ・12月 文京区障害福祉課 1件
- ・3月 短期入所利用希望見学 4件

